

医療計画後期の方策における一般科と精神科医療との連携についての意見交換会（パネルディスカッション）

平成31年3月23日（土）、新潟市総合保健医療センターにて「新潟で心健やかに暮らす未来 そのために一般科と精神科が連携して地域に貢献できること」を開催。

1 経緯

医療計画における共通課題及び計画後期の方策として「一般医療機関と精神科医療機関との情報交換による相互理解の促進」が打ち出された。このことから新潟市在宅医療・介護連携センター受託事業のうち「地域医療連携強化事業」の企画として開催。

2 内容：パネルディスカッション

テーマ

高齢化による心身の合併症や、身体疾患と精神疾患の合併など「複雑かつ複数の問題」について

コーディネーター

鈴木雄太郎 氏（医師・医療法人敬愛会 末広橋病院 理事長）

パネリスト

森田幸太郎 氏（医師・社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 脳神経外科部長）

大澤 孝 氏（精神保健福祉士・医療法人恵生会 南浜病院）

岩淵 英理 氏（医療ソーシャルワーカー・新潟県厚生農業協同組合連合会 豊栄病院）

堀田 伸吾 氏（弁護士・新潟みなと法律事務所）

伊藤 精一 氏（救急救命士・新潟市消防局救急課）

3 対象者

病院や診療所に勤務する医師・看護師・相談員など
その他、行政機関で医療サービスの調整役を担う人